



SpermSlow™ (精子不動化用メEDIUM)

SpermSlow™ (スパームスロー) は、ICSIをより自然に行うために開発された精子不動化用メEDIUMです。SpermSlow™は、ヒアルロン酸がベースとなっており、PVPの代替品としてご使用いただけます。

ヒアルロン酸は、成熟した卵母細胞の卵丘細胞に存在する主要成分であり、その分子構造は多糖の一種であるグルコサミノグリカンの高分子鎖です。

また、Huszar G. et al. によって報告されている精子とヒアルロン酸が結合する特性を利用し、成熟精子の選別にも利用できることが期待されています。

製品名	カタログ No.	容量	フェノールレッド	有効期限	抗生物質	保存温度
SpermSlow™	1094 4000	0.1 ml × 4	—	12週間	+	2~8℃

培地組成

Hyaluronate
HSA
Sodium pyruvate
Cholesterol
Glucose and derived metabolites
Physiological salts
Amino acids
Nucleotides
Vitamins
Insulin
Sodium bicarbonate
Gentamicin

品質管理項目

無菌テスト済み (Ph. Eur., USP)
エンドトキシンテスト済み : ≤ 0.1 EU/ml (Ph. Eur., USP)
精子サバイバルテスト済み

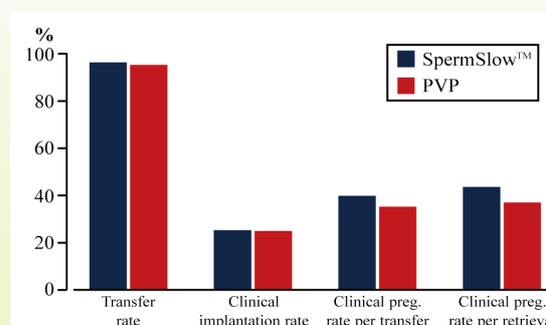
使用上の注意

- 1) 遮光にて2~8℃で保管し、凍らせないで下さい。
- 2) 開封後は7日間以内にご使用下さい。
- 3) 商品包装が破損している場合、および有効期限を過ぎた場合は使用しないで下さい。

試験成績

Menezo & Nicolletは、SpermSlow™がPVPの代替品として十分使用可能であることを示し、その試験成績では、妊娠率において有意な差は出なかったものの、良好な成績を得ています。また、この良好な成績は、hyaluronate bindingによる良好成熟精子のセレクションに起因するかもしれないということも示唆しています (Kovacs et al., 2004)。

以下のグラフは、平均年齢33.6歳の202症例において、PVP Clinical Grade (Origio) を用いた110症例とSpermSlow™を用いた92症例を比較した試験成績です。



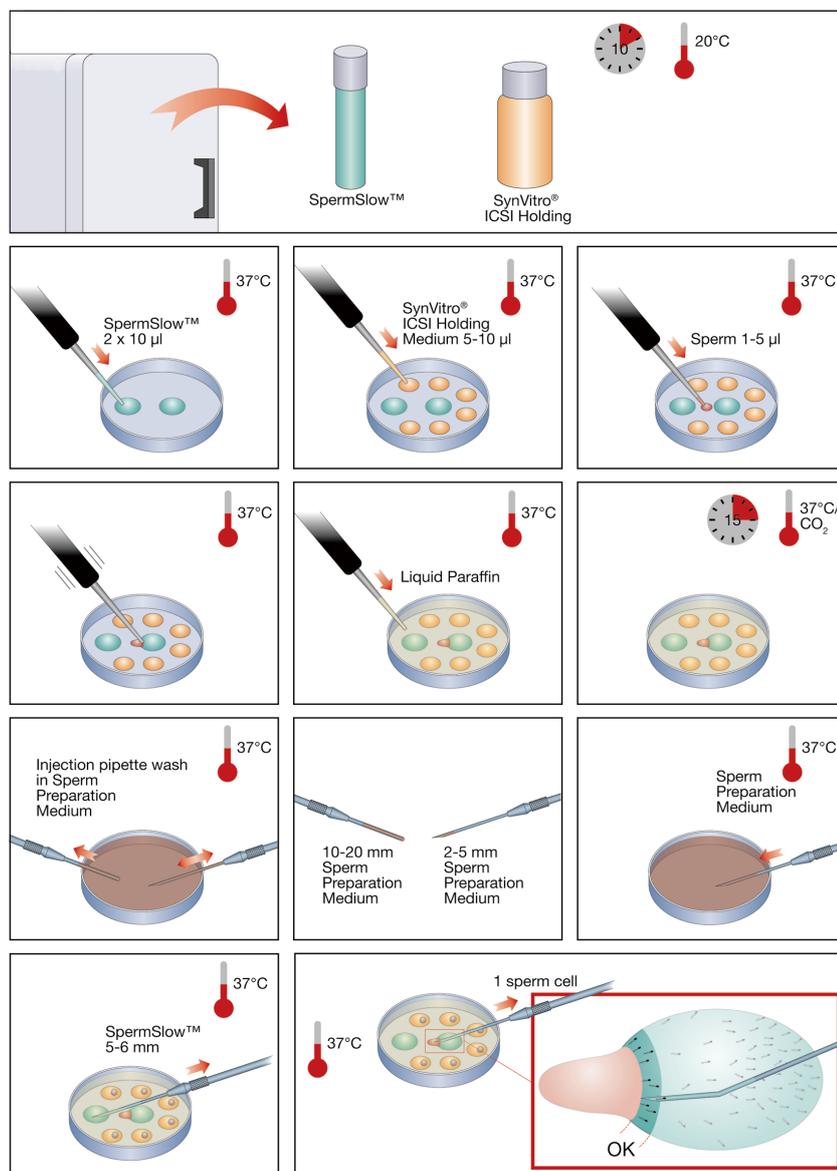
There were no significant difference in the Embryo Scoring and the number of embryos transferred:
SpermSlow™ 166/88 = 1.88 and PVP 195/105 = 1.86;
There were 5 miscarriages in each group.

プロトコール

本製品は、10分間、室温に置いてからご使用下さい。

- 1) ペトリディッシュに10 μ lの SpermSlow™ のドロップを2個作製し、ICSIの間はディッシュを37°Cに保温しておきます。
- 2) ICSIを行う卵母細胞の数によって、5 ~ 10 μ lの Sperm Preparation Mediumのドロップを数個作製します。
- 3) SpermSlow™ のドロップの近くに、1 ~ 5 μ lの洗浄・調整済の精液のドロップを作製します。
- 4) ピペットの先端を使って、精液のドロップと SpermSlow™ のドロップとを繋ぎ合わせます。
- 5) 平衡化した Liquid Paraffin でディッシュを覆った後、37°C、CO₂下で、15分間インキュベートします。
- 6) インジェクションピペットを Sperm Preparation Medium を用いてよく洗浄し、Sperm Preparation Medium をホールディングピペットで10 ~ 20mm、インジェクションピペットで2 ~ 5 mm吸引します。
- 7) Sperm Preparation Medium が入ったディッシュに、インジェクションピペットにより吸引した Sperm Preparation Medium
- 8) を排出します。
- 9) Sperm Preparation Medium のドロップに胚を移します。
- 10) インジェクションピペットで5 ~ 6 mmの SpermSlow™ を吸引します。

精液のドロップと SpermSlow™ のドロップとの接合部域にいる成熟精子を注意深く観察し、選択します。 ヒアルロン酸塩に付着していて、かつ、尾部を運動させている、形態的に良好な精子を選択して下さい。



【注意】

本製品は薬事法の定めるところの「医薬品」「医薬部外品」ではありません。

また、ヒト、動物の診断あるいは治療用として用いるものではありません。